

# 新春 座談会

本州から来て民宿に泊まっている人山のガイドの人、カメラをやっている人が中心になって、みんなで声を掛け合っているんだ。誰か来れなくなっても、メンバーで声を掛け合っただけで3〜4人いるんじゃないかな。

**松岡** その人たちは観光産業で仕事をしている。繁忙期以外の時期を農作業で補って、繁忙期は自分の仕事に就く、ということですね。

**板谷** 種まきから田植えにかけての忙しい時期は、まだ春山なのでガイドさんは仕事がないようなんだね。

**松岡** それはうまい組み合わせですよ。働く人たちにとっても農家にとっても良い。

**板谷** 秋に打ち上げの飲み会をしたんだけれど、去年の話題はというと「春の種まきは、もう不作を考えて種まいていたもんなあ」と笑い声が出るくらいの仲間になつてくれたのさ。雪解け遅れたし、春の種まきの時なんてだいたい(気持ち)暗かったよ。限界作物がだんだん北に上がってきているというから、気象

条件が変わってきているんだね、温暖になっていく。農家そのものの技術力もよくなってきているしね。

**林** 今でも笑い話になることがあるんだけれどね、幌加内が上川管内に入ってきて、その理事長さんと札幌行きの特急電車で乗り合わせた時3月28日だったなあ。「俺の畑に雪がまだ2メートルある」つてね。

「雪解けるの5月いっぱいかかるな」と言っていたのがすぐに解けたというんだからね。あの時は暗くなっていたからね。

**宮崎** うちも去年は稲の種まきを1週間遅らせたからね。

**板谷** 本州では、今までは不作に強い稲づくりだったけれど、これからは高温に強い稲づくりをしなければだめだ、と言っているからね。一等米比率は、向こうでは60%くらいだというんだ。ハラジロも出るということだから。

**松岡** そういう意味でも北海道というのはイメージも良いし、こだわった作り方をしているし。そして消費者に理解してもらうために生産者の顔写真を入れているとか。責任の所在をしつかりと伝えていますが、そのへんの評価はどうでしょうか。

**板谷** 10年くらいになるんだけど、

ていて、秋には日本の米どころ、新潟まで東川米を売りに行った。10日間で千袋売れたということ、これは高い評価だなという限りです。これからは評価を下げない努力が必要になる。

**松岡** 北海道の米は、大消費地・東京にも売れていくでしょうから、新潟、仙台に持つて売って売ってみたいということ、北海道米のイメージ全体を拡大することになるんじゃないか。ある意味で東川が北海道米を引っ張っていると言えんじゃないでしょうか。最後に皆さんからひと言ずついただけますか。

**板谷** 去年の農協集荷率は、初め20万千俵(1俵は60kg)あった。春に出荷まじめをした時には18万9千俵で、豊作で集荷率106%になった。作況指数分だけ出してくれたんだね。ホクレン出荷した米は80%を超えているんさ。

ところで、去年全国段階で米の国内出荷量が2万トン減らされたんだけれど、そのうち北海道では1万トンになつている。これを直せないことに不公平感が出ている。

転作したところはどうしても過剰転作をしようんだね。大豆とか別の作物を作る時、どうせなら多く売ったほうがいいわけで、転作率は実際には105%、107%にもなつていた。それが(翌年の)割り当

初めの時は大変だった。悪いものが出た時にすぐに「ガッン」とくるからね。でも今になってみると、生産者の意識として写真を貼ることが当たり前になつている。できないということは自信のないものを出したなと評価されるし、消費者にとっても安心だ、ということになつている。業界(流通・卸し)の人たちに言わせると「おつかないことをしたんだね」と言っている。通常ならいろいろなクレームがくるうちに定着したからね。今さらこれはずすとすると、産地として最大のマイナスになる。3年くらい前からなんにでも顔写真を貼るようにしている。

**高橋** 外部に対しては消費者重視、町内的には「あの人と私」と(ライバル意識も出る)。お互いに切磋琢磨して技術も向上していくので好循環になつている。大きなクレームがなく、平準化された生産技術が確立されてうまく回っていると思えます。

**板谷** 顔写真があるからクレームは直接農協にも来る。その時は生産者に伝えるし、消費者にもだめだった理由と、ちよつと野菜を添えて直接お詫言を書いてるんだけど、年間数件程度だね。

夏休み、小学校の子供たちが「スパー」などに行つて気がついたこと

の時に実績としてカウントされて次の計算の基礎にされてしまう。北海道の中でその数字の調整が取れないでわれわれのところまで降りてくるから、さらに転作の面積が増えてしまうんだよね。

稲作農家なら、加工米でも何でもやつて意地をみせんかったらだめだよ。今はそうやつて意地を張つている所にちよつと余計に作れる、ということになつているんさ。だからもう少し現況を分かつてもらつて、(作付け希望の)積み上げ方式をやつたほうがいいと思うんだよね。

北海道米対(北海道農協米対策本部委員会)の会議で、今年の米作りと転作面積が示されたんだけど、その中で「北海道の米を減らさないでくれ。水張り面積を減らさないでくれ」と言っている。社会環境の変化によつて加工米が主食用に戻るのとだつてあるんだから」というんだ。去年は指示面積より250ヘクタールほど余計に植えていたから、今年水張り面積が増えれば、大豆などを植えていたところも水田に戻してもらうように話していきたいし、米作地帯として増やしてもらうことが必要だということを組合員に訴えていきたい。そして基盤整備が一年でも早くなるように努力したい。

**宮崎** 昔と違つて若い人で農業に意欲を持っている人が増えた、というのはうれしいですが、TPP(環太

という宿題を出されることがあるらしいんだよ。「どうして写真を貼っているのか」と質問が来るんだね。そんな時うちの担当職員は「安心、安全で誰が作ったものなのか分かるようにするためです」と書いて、野菜を添えて送つてあげる。そうすると「分かりました。ありがとうございます」と感謝の手紙も来るんだよね。

**林** 去年、たまたま静岡に行つたところ、結構東川のものが入つてますね。ちよつとスパーに入つてみると、東川コーナーとなつていて、写真を貼つたものを売つていたら、すよ。30分ぐらいそつと見ていたら、写真を見たトマトでも、やはり中を見て比べている。だから、われわれ生産者はきちんと出荷しなければだめだ、と部会で徹底しなければだめなんですね。一つ悪かつたらみんな悪くなつちゃうからね。

**宮崎** あるスパーで言つていたけれど、売り場に山積みされてると、Aさんのものを探すと、Bさんのものを探すと出てくるんですね。

**松岡** なるほど。消費者の方は食に対する関心が強いんですね。選択しやすくもなるわけですね。ところで農協さんはコープさっぽろさんとの間で「てつぺんスクール」をやつておられるわけですが。

平洋戦略的経済連携協定)の問題で農業が非常に打撃を受けるという話を聞いています。米は3千円の価格が500円くらいに下がる、と夢がなくなるような話ですが、若い人に魅力のある農業にしていきたい。

**林** 大型水田にする事業はなんとんでもやり遂げたい。躊躇している組合員さんもいるようですが、将来東川に農業者が150人しかいなくなる、ということになると、1人当たり20ヘクタールは作つてもらわなければならぬわけで、今の状況では困難です。何とか実現できるように協力をお願いしたいと思います。

**高橋** 期成会を代表して、ということであれば、100%を目指して今後努力していく、ということに尽きると思っています。東川小学校の移転では、食育を見据えた中で、環境にも十分に配慮した教育に特化するようです。子供たちが東川を郷土として巣立つていくわけですから、この東川を愛してくれて、東川に残る子供たちにもこの素晴らしい環境を守り育てて、農業を基幹産業とするこの町を大切にしていってほしいと思います。

—本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。(収録は昨年12月15日、役場応接室)

**松岡** 子供たちが東川のほかの産業と触れ合う機会にもなつているわけですね。

**宮崎** 農協さんは攻めの農業をやつ